

企業のみなさまへ

障がいのある生徒の就労支援を企業の皆様と一緒に進めていきたいと考えています。

現場実習の受け入れ

1 高等部1～3年生を対象とした1～3週間程度の実習の受け入れ

企業見学会の実施

2 生徒・教員等を対象とした企業の見学

進路学習への協力

3 校内での請負作業や生徒対象に就労意識やマナー向上に向けての助言

作業学習の技術指導

4 生徒・教員を対象に作業学習への技術指導や助言

企業内就労体験学習

5 週に一度の就労体験学習の受け入れ

障がいのある生徒の雇用

6 3年生を対象とした実習と連結した雇用

アフターフォロー

7 就労後、職場の適応がスムーズに行えるような相談支援、巡回訪問

現場実習 受け入れにあたって

現場実習の受け入れにあたって、進路担当者がご相談に伺います。

実習に際して

- 学習の一環ですので報酬等はいただきません。
- 交通費・昼食費及び実習に要する費用は保護者が負担します。
- 現場実習中に万が一けが等のトラブルや器物破損等が生じた場合は、学校で加入している保険で対応します。
- 現場実習前に、打ち合わせをさせていただきます。



産業現場における 生徒の現場実習に ご協力をお願いします



 三重県立
ぐわな特別支援学校

〒511-0811 三重県桑名市大字東方字尾弓田1073番地
TEL 0594-87-6064 (高等部) FAX 0594-25-1165
<http://www.mie-c.ed.jp/skuwan/>

私たちの学校 くわな特別支援学校

くわな特別支援学校は、知的障がいの学校として、平成24年度に開校しました。

卒業後の「自立」と「就労」をめざして、小学部・中学部・高等部の児童・生徒が桑員地域から通学しています。

めざす子ども像

地域で学び

地域と関わり

地域で活躍する子ども

高等部には、「工場で働きたい」「レストランで働きたい」「お年寄りの介護の仕事をしたい」と、卒業後、一般企業等に就職して、自立したいと考えている生徒がたくさんいます。

本校は、互いに思いやりのある「共生社会の実現」をめざし、地域で働き、地域に貢献することができる人材を育てるために学校と企業・関係機関が一体となって職業教育・就労支援を進めていきたいと考えています。

現場実習について —働くことを学ぶ学習—

障がいのある生徒が、学校の外へ出て働く経験は、将来の社会参加や自立に向けた課題を探り、自らの適性や希望する職業について考える貴重な機会となります。

1年生	2年生	3年生
校内実習 2週間を2回	校内実習 2週間を1回	現場実習 2～3週間を2回
現場実習 1週間を1回	現場実習 2週間を2回	



工場でのグレーチング 組み立て業務

鉄の板を決まった数だけ並べ、穴に棒を通してボタンを押す作業です。コツコツ集中して持続する仕事が得意です。



工場での部品組み立て業務

『いくつかの部材を順番にセット→ボタンを押す→取り外して検品』、単純で繰り返す作業が得意です。

介護施設での清掃業務や 介護補助業務

手順がわかれば毎日、きちんと清掃できます。お茶やお昼ご飯の配膳やお年寄りとのコミュニケーションが好きな生徒もいます。



スーパーの 農産部門での加工業務

野菜の数を数えてテープでとじたり、店頭に並べたり、わかりやすい作業は得意です。



スーパーの デリカ部門での調理業務

家での調理経験を生かして、盛り付け中。好きな事にとっても熱心に取り組めます。



病院での事務業務

パソコンが得意な生徒は、文字や数字の入力操作などができます。

